



伸びよう阿曽っ子



5月品格目標： 責任

友達との楽しい活動と思いやりの心

5月1日(木)の業間休みと3時間目に縦割り班顔合わせ会がありました。はじめは、自己紹介をしたり入学して間もない1年生に、2年生以上の子ども達が自己紹介カードを渡しました。6年生はそのカードを1冊の本にまとめて1年生にプレゼントしてくれました。

その後、さわやかな風が吹く運動場に出て、6年生が考えてくれた遊びをみんなで楽しみました。5年生以下の友達をまとめる大仕事でしたが、落ち着いて司会進行をすることができました。大人からすればたいしたことではないように思えますが、6年生になったばかりの子どもにとってはたいへん緊張する仕事だったと思います。しっかりとした準備をしていたからこそ落ち着いて、1年生を気遣いながら楽しい時間にすることができたのだと思います。まだ、緊張した面持ちではありましたが、1年間かけて立派な6年生に成長してくれることでしょう。6年生の保護者の皆さんは、ぜひとも縦割り班顔合わせ会のことを話題に出していただき、しっかりとお子さんをほめてあげてください。認められることで自信をもち、さらに大きな成長につながっていきます。

また、生活科では、2年生が1年生の子どもに学校内を案内する「学校たんけん」がありました。2年生が「1年生を思いやり」「失礼します」と言って教室に入るんだよ」「シールは貼れた?」「次はこっちだよ」と1年生の手を引き、優しく案内する姿に、大きな成長を感じました。

さらに、6年生の子ども達は1年生が入学して以来、登校後は年生の教室に行き、1年生がランドセルを片づけるお手伝いをしたりいっしょに本を読んだりして1年生に寄り添い優しくかわってくれています。

阿曽っ子の優しさの輪がどんどん大きくなりますように…。



保護者・地域の皆様からの大きな支援

朝正門に立っていると、雨の日も晴れの日も7時30分ごろから横断旗を持って子ども達に大きな声であいさつをしてくださる方、お孫さんやお子さんといっしょに登校してくださる方、子ども達の下校を青パトで守ってくださる方、子ども達の後ろからにこにこしながらついてきてくださる地域の方、上手に並んでこれなければ子ども達に注意をしてくださり、子ども達と一緒に歩いて来校し励ましてくださる方、学校前を車で通行するときにはスピードを落とし徐行をしてくださる方、…。このように、地域の宝である阿曽っ子の安全な登校は、たくさんの方々の地域の方々に守られています。また、学習面では、1・2年生に安全な登下校について指導してくださる方、2年生に野菜作りを教えてください、本年度より始まった3・4年生の書写のサポート…。「地域の子どもは地域で育てる」という意識が根付いている阿曽地区で、私たちも精いっぱいお子さんと関わってまいりたいと思っています。どうもありがとうございます。



楽しいゴールデンウィークを

いよいよゴールデンウィークです。昨年度、「阿曾っ子の未来について考える」アンケートにおいて、家庭の課題として多かった回答は「ゲームやパッド、YouTube、メディアを見る時間が多い」でした。

このお休みは、お子さんといっしょに散歩する、いっしょに遊ぶ、ごはんやおやつを作る、図書館へ行っていっしょに本を読むなど、メディアから離れて一緒に過ごされてみてはいかがでしょうか。

言うまでもなく親子のふれあいの時間を増やすことで、子どもと親の信頼や絆は深まります。親子間に愛着関係が築かれていると、子どもは「自分には価値がある」と実感し、自分を肯定することができるようになります。ふれあうことは、子どもに安心感を与えるだけでなく、大人も優しい気持ちになったり幸せを感じたりすることは皆さんも感じられていることと思います。特別なことをしなくても、いっしょに時間を過ごすことで親子にとってよいお休みになることでしょう。

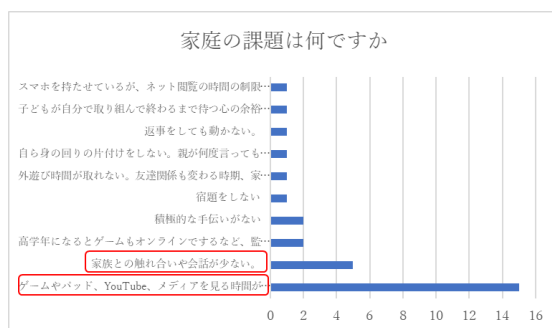
※毎年のようにゴールデンウィークに、川や命で幼い子供が命を落としてしまう痛ましい事故が起こっています。お出かけする際は、くれぐれもご注意ください。

※百日咳が猛威を振っています。手洗いやうがい、マスクの着用等、ご注意ください。

安心・安全な運動場に

ゴールデンウィークが明けると、運動会の練習が始まります。そのため、1年生から6年生全員で運動場の石拾いをしました。阿曾小学校では、子ども達が安全に運動をしたり楽しく遊んだりすることができるよう、職員も子どもも力を合わせて運動場を整備しています。どの子も腰を下ろして、たくさんの石を拾いました。その後、職員が整地用の金具を車にくくり付け、丁寧に平らに仕上げました。地面がでこぼこしていると見た目が悪いだけでなく、子ども達がつまづく等、安心して運動したり遊んだりすることができません。

そこで、皆様にご協力いただきたいことがあります。それは、車を所定の場所に駐車・通行していただきたいということです。運動場を車が走ることで、運動場にはわだちができてしまい、でこぼこになってしまいます。運動場は大切な子どもの学び場です。実は、車が通ってでこぼこになってしまった運動場では、危険だろうということと、ご近所の方がたった一人で整地をしてくださることもあります。参観日等ではやむを得ず運動場に車を止めていただくことがありますが、それ以外は、どうぞ運動場を車で通行することはご遠慮くださいますようお願いいたします。



R6 「未来の阿曾っ子を考えるアンケート」より